



### 学校課題解決策を提案した6年生（出合小学校）

出合小学校では、6年生が知・徳・体・夢の4つの部会で、課題解決のために自分たちが考えたことを地域の方に提案し協議しました。6年生にとって地域の方と話し合うのは初めての体験で、ドキドキしながらタブレットを使って説明していました。参加された委員は、子どもたちの提案に対して、別の視点や注意することなどを示しながら、価値づけたり補強したりされました。最後に、子どもたちは、地域の方と話し合えてうれしかった、地域の魅力を知ることができてよかった、などの感想を発表しました。



### 国際交流（高千帆中学校）

サビエル高等学校と国際交流するためにモンゴルから訪れている高校生訪問団に、希望して加わった二人の中学生が、高千帆中学校の生徒と学習しました。数学の授業では、日本語が分からないため、生徒の片言の英語やタブレットの翻訳機能を使った説明を聞きながら、問題を解いたり黒板に書かれたことをノートに写したりしていました。時折、困ったような様子を見せることもありましたが、生徒とのコミュニケーションを笑顔で楽しんでいました。この他に、書道やかるたなどの日本の文化に触れる体験もしました。



### 地域学習（埴生小学校）

埴生小中学校の学校・地域連携カリキュラムにあるふるさと発見学習の一つとして、ふるさとの歴史を調べるという学習が地域交流センターで実施されました。6年生と地域の方が、地域交流センターの公開講座に参加し、地元の郷土史家から地域に関わる偉人について話を聞きました。子どもたちが地域の方と一緒に学ぶ取組は昨年度に続いて2回目となり、地域資源や地域交流センターが学校に隣接していることを生かしたものです。子どもとともに大人も学ぶふるさと学習は、郷土への誇りや愛着を育む第一歩になると思います

